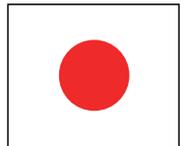


神・自然・人間は本来一体である “新しい文明”の基礎づくりを進めよう！



祝日は国旗を掲げましょう。

皇紀2681年
一文月一
7月号

発行所
生長の家 両丹道場
舞鶴市字北吸 497 番地
TEL (0773) 62-1443
FAX (0773) 63-7861
白鳩会 (0773) 63-5080
発行人 伊藤 夏樹
編集人 船木 悟

人間中心主義から抜け出そう（抜粋）

生長の家総裁 谷口雅宣

私たち人類が今のような人間中心主義の考え方を改めずに自然破壊を続け、経済発展ばかりを進める生き方をしていれば、私たちは自分たちの生活基盤をも破壊してしまう可能性さえあるのです。これは、遠い将来のことではなくて、現在それが起こりつつあるという認識をもたねばなりません。必要なことは、まず人類共通の「哲学・信仰」を確立することです。その基本は、生長の家が二十年前から言っているとおり、「神・自然・人間は本来一体」ということです。（中略）とにかく、人間さえよければ自然界の他の生物や鉱物資源はどうでもいいという考え方から、早急に脱却しなければならぬのです。

そして私たちの生活の仕方を改めていく。つまり、信念を行動で表現していくのです。そして、自分ひとりで納得するのではなく、多くの人々にその信念を伝え、それらの人々と共に日常生活の中にその考えをどんどん反映させていかねばなりません。そういう運動を、これからも皆さんと一緒に力強く進めてまいりたいと、今日のこの祈念祭に当たり強く思うものであります。

（二〇二二年三月十一日の「神・自然・人間の大調和祈念祭」におけるお言葉、機関誌『生長の家』二〇二二年五月号一八〜一九頁）

「人間中心主義」をあらためよう

京都第二教区教化部長 伊藤 夏樹

ポーチュラカ、菊、ペチュニア、金魚草などなど。今年も、信徒職員の方々の協力を得て、道場の花壇にいろいろな花の苗を植えました。そして成長を楽しみにしているのですが、どうも様子がおかしい。ポーチュラカなど、苗がどんどん広がりが大きくなるはずなのに、逆に小さくなっていく…。不思議に思つてよく観察したら、茎の先を何者かに食いちぎられていました。どうやら動物の仕業らしく、近くにくっきりとした足跡も。そう言えば、早朝、境内地を大きな鹿やイノシシが走るのを何度か見たことがあります。「なんてことを」と残念でならず、つい怒りさえ覚えてしまいました。自然との共生は簡単ではないようです。生長の家白鳩会総裁・谷口純子先生の新刊書『森の日ぐらし』に次のご文章があります。

“森の中のオフィス”でも、畑をしているが、先日こんな会話ががあった。畑のキャベツに虫がついて、葉っぱがレース状態になっているとのことだった。フェイスブック上にその書き込みがあった時、沢山のキャベツを育てたことのある人からアドバイスがあった。虫の

◎ “自然と共に伸びる運動”の実現のため、
“神においてすべて一体”の宗教心を多くの人に広げよう！
◎ 第一線で「ネットフォーラム」を活発に開催して、壮年層会員の拡大と普及誌購読者・聖使命会員拡大の一年にしよう！



ついたキャベツを青虫用にして、他のキャベツにいた青虫もすべて割りばしでレース状態のキャベツに運ぶことをする。一つのキャベツを丸ごと青虫に提供することにより、他の沢山のキャベツは、元気に育つのだそうだ。（二八頁）

思い出したのが、長村婦美子先生のこと。同じくキャベツについた沢山のナメクジに、こう言つてお願いして沢山のキャベツを無事に収穫したといひます。「ああナメクジさん、お早う。あんた、この節は人間さんでもな、アパートに多勢何所帯も暮らしていやはるのに、ナメクジさんが大きなキャベツ一軒に、一家族ぐらいでは勿体ない、ここに三つか四つあるから、ここをあんたの方の家にして上げるからアパートにして頂戴。頼むわね。他のキャベツは神様にお供えするから、まあ、せまいところへ入れるけど、頼みますよ」（『み教えにいのち捧げて』一八二頁）

また、長村先生は道場創設のとき、敷地のわきに仮小屋を建て、一人でそこに寝起きする生活をされていたといひますが、そんな時にやってくる蚊に対して、「ああ、蚊さんは足をなめに來てるのやなアア殺さんでもいいんや、そろつと払つたらええのや」（同書）

一四七頁)と思われてそのいのちを大切にされたということでした。

谷口純子先生は、人間の自然との付き合い方について次のように指摘されています。

多くの現代人の自然との付き合い方は、人間に都合の良いものだけを受け入れるものだ。そこでは、虫がついてはいけけないし、病気になるってもいけけない。不自然な無菌状態の自然だけを受け入れる態度が、人間中心に物事を考える習慣につながっている。
『森の日ぐらし』二七頁)

ナメクジや蚊、鹿やイノシシなどの自然の立場を無視し、人間に都合の悪いものは排除する——私たちは、このことを反省しなければいけないのです。そしてこの人間を中心に考える習慣が、世界的な危機を引き起こしていることに気が付かなければなりません。ご存知のように、大災害を頻発させている地球温暖化も、今回の深刻な新型コロナウイルス感染症の世界的流行も、この「人間中心主義」が原因であるのです。これは今人類がいち早く脱却しなければならぬ最重要課題なのです。

七月、長村先生のご命日を迎えるにあたり、この両丹道場でも先生が人間の都合だけを優先されず、自然の生き物の生命を大切にされてきたこと思い出しましょう。そして、私たちもまた、前掲の総裁先生の御文章にあるように「人間中心主義」から抜け出して、「神・自然・人間は本来一体」の信仰をますます力強く広めていきたいと思えます。

～青年会便り～

『十五年間ありがとうございました』

青年会事務局長 渡利 あすか

私が初めて住吉大神様を参拝させて頂いたのは、今からちょうど十五年前になります。清々しい雰囲気の中に両丹道場でお会いした人々は、先生方も信徒の皆様も明るく親切で活気に満ち、笑顔の似合う方々ばかりでした。京都第二教区の皆様の純粋な信仰心に触れ、私自身も笑顔が増えていったことをよく覚えております。人前に立つのが苦手な私が青年会委員長のお役を六年間も務めさせて頂いた時期もありました。教区の皆様に支えられていなければとても無理だったろうと思います。素晴らしい諸先輩方や仲間達との出会いに恵まれた、幸せな時間でした。私は七月で丹後の地を去ることになりましたが、この教区で過ごした時間と経験は何よりの宝です。これまで皆様に頂いた沢山のご愛念に感謝すると共に、京都第二教区のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

～相愛会便り～

ネットフォーラムの普及に向けて

相愛会教区連合会副会長 新宮 義人

新型コロナウイルス感染症予防対策の生活が始まって一年余りが経ちました。生長の家でも誌友会などの対面式の行事は開催困難となりましたが、パソコンやスマホを活用してインターネット上で集う新しい行事「ネットフォーラム」が開催されるようになりました。また、昨年は講習会が中止となり、総裁先生、白鳩会総裁先生のご指導をいただくことは叶いませんでしたが、今では両先生がFacebookを通じて配信して下さる各種の動画、時間や場所を問わずに視聴し学ぶことができるようにもなりました。本当に便利でありがたいことです。これらの技術は今後の生長の家の活動に欠かせないものであり、多くの方に是非、ネットフォーラムへの参加や先生方の動画の視聴をしていただきたいと思います。相愛会では、そのお手伝いをさせていただきますので、どうぞ、お気軽にご相談ください。

～ 地方講師会だより ～

合掌ありがとうございます。

地方講師・光明実践委員の皆様には、「自然と共に伸びる運動」にご尽力頂いてますことを心より感謝申し上げます。去る五月三十日(日) 十時～十時五十分、ネットフォーラム研修会を開催致しました。参加者は四十名でした。その中で古和田幸子講師が普及誌の読みどころを紹介くださいました。素晴らしい発表ありがとうございました。また同研修の中で伊藤教化部長ご指導のもと、『生長の家』機関誌五月号一頁、谷口純子先生のご著書『森の日ぐらし』三十四頁の中で「今」を感謝し、今を十分に生きることの大切さを勉強させて頂きました。

行事のご案内

令和三年六月度地方講師・光明実践委員研修会ネットフォーラム
日 時：令和三年七月二十五日(日) 十時～十時五十分

テキスト：会員必携書『新しい文明を築こう』上巻(基礎編) 中巻(実践編)、谷口純子先生のご著書『森の日ぐらし』『生長の家』機関誌

当月号、普及誌三誌No.138 (八月号)

※地方講師会総会の審議事項であります令和二年度決算及び令和三年度予算につきましては総数九十一名の講師の方々に総会資料及び表決書を郵送させて頂き、七十一名の講師の方々が決算・予算とともに賛成の表決書を返送下さいました。伊藤夏樹教化部長ご指導の下、両丹道場責任役員会(幹事会)の議決条件に準じ、三分の二以上の賛成を得て議決とさせて頂きました。皆様方のご協力に感謝申し上げますと共にご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。





全体支部長会議を Zoom で開催しました



5月12日(水)10時～Zoomで全体支部長会議を開催しました。コロナ禍で集まることが出来ない中、オンラインにより、43名の支部長以上の役員の方に参加して頂く事が出来ました。また、お一人ずつ自己紹介をして頂き、久しぶりに沢山の方と交流することが出来ました。

7月度の対策部だより

普及誌購読者拡大

普及誌購読者拡大にご協力して頂きありがとうございます。

『白鳩誌』No133から「真理への道しるべ」や、『いのちの環』No134から「生長の家の教えを学びましょう」という、生長の家の書籍を通して教えを学ぶ連載コーナーが始まりました。ネットフォーラム<非正規版>の投稿や、真理の研鑽に役立てられるのではと思います。また、母親教室のための「ママナビ」のコーナーもお勧めです。子育ての大事なポイントが分かりやすく説明されて誰が読んでも参考になります。

ネットフォーラムという新しい取り組みも始まりましたが、対面での誌友会が開催出来ない今だからこそ、時間を作って普及誌をじっくり読んで、光明面に心を振り向け生かされていることに感謝して、明るく楽しく元気に、生活を送って頂きたいと思います。新規購読者の推進と出来る限りの継続をお願い致します。

No135『いのちの環』「俳壇」与謝総連:尾藤静子様、綾部総連:大槻紀子様のご投稿が掲載されています。

聖使命会員拡大

合掌、ありがとうございます。コロナ禍の中にあっても、毎日人類光明化運動・国際平和信仰運動・自然と共に伸びる運動のために、献資して下さる聖使命会員の皆様ありがとうございます。今月は、新規入会のよろこびの声をお届け致します。O.Aさんは、お孫さんを自分の愛行として入会しておられました。ある時、娘さんが、「生長の家っていいネ。私達はいつも神様に見守られているんやね」と言って、自分から入会して下さったそうです。「日頃のありがたい気持ちを理解してくれている事に、感謝で一杯です」と、その喜びを語って下さいました。

さあ！私達も勇気を出して、喜びを持ってお勧めして行きましょう。

支部・誌友会・会員

6月、7月は暑くなりますね。季節が変わるっていいですね。自然界に感謝します。熱中症対策・コロナ対策で色々勉強しました。引き続き忘れずに。早く誌友会開催できると嬉しいです。

<うちんとこの誌友会>

与謝総連です。コロナ禍で、今までの様に各支部で誌友会が開催出来なくなりました。ご存知のように、スマホを使ってLINEやFacebookで会員同士が繋がる方法を教えて頂きました。なかなか慣れませんでした。ラインで各支部長さんと繋がる事が出来たので、「与謝総連白鳩連絡グループ」(7名)を作ったところ、連絡が一度に出来て便利だなと感じました。そして、そのグループラインを使って、昨年4月から恐る恐るラインの投稿形式で誌友会を始めてみたところ、失敗しながらも、一生懸命普及誌の感想を書いて投稿して頂きました。素晴らしい感想ばかりです。皆さんの信仰の深さを感じました。

最近、普及誌は読んで頂いているけれどネットでは繋がらない誌友さんに、支部長さんから「その月の普及誌の良かったところ」を聞いて頂いています。一日も早く新型コロナ感染が終息して、皆さんと顔を合わせて誌友会が出来る日が来ることを祈っております。

令和3年7月度行事予定

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	曜
五者会議(10時)【ネットフォーラム】	〔道場休館日〕							〔道場休館日〕	(教区) 献劳(10時)有志のみ 万教包容のみ祭(本部)					聖使命感謝奉納祭	〔道場休館日〕	本部・教化部行事
																教化部長
伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	早朝行事担当

☆五者会議、各組織会議はネットフォーラムを予定しております。また、先祖供養祭、住吉神社月次祭、祈り合いネットフォーラムはフェイスブックで会員へライブ動画を配信しておりますのでご利用ください。	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17
	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土
	長村婦美子先生感謝の集い(10時)【ライブ配信】		〔道場休館日〕			祈り合いの神想観ネットフォーラム(10時)【ライブ配信】	(相) 正副・地区連会長会議(13時)【ネットフォーラム】	(白) 総連会長・対策部長担当会議(10時30分)【ネットフォーラム】	普及誌仕分け	〔道場休館日〕	(白) 正副会長会議(10時)【ネットフォーラム】		〔道場休館日〕 海の日	住吉神社月次祭(10時)【ライブ配信】	先祖供養祭(10時)【ライブ配信】
	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	休み	富永	近藤・藤原

☆献納ありがとうございます。
 吉田 正幸 50,000円
 ☆自然エネルギー拡大募金ありがとうございます。
 澤田 絢子 100,000円
 ☆祈り合いの神想観献納ありがとうございます。
 2,000円
 ☆お賽銭ありがとうございます
 8,013円

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について
 京都府では6月20日まで緊急事態宣言が延長されるなど日本国内及び全世界では感染者が後を絶たない状況です。道場ではこれまで通り、感染予防対策を維持していき予定です。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。